

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「基本情報技術者試験 平成28年度秋期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、10月16日(日)に実施された「基本情報技術者試験 平成28年度秋期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の秋期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(平成27年度秋期試験、平成28年度春期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	H27 秋 出題数	H28 春 出題数	H28 秋 出題数
テクノロジー系	基礎理論	9 問	10 問	10 問
	コンピュータシステム	14 問	14 問	14 問
	技術要素	22 問	21 問	21 問
	開発技術	5 問	5 問	5 問
	小計	50 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	4 問	4 問	4 問
	サービスマネジメント	6 問	7 問	6 問
	小計	10 問	11 問	10 問
ストラテジ系	システム戦略	5 問	5 問	6 問
	経営戦略	9 問	8 問	6 問
	企業と法務	6 問	6 問	8 問
	小計	20 問	19 問	20 問
	全合計	80 問	80 問	80 問

●問題形式別

問題形式	H27 秋 出題数	H28 春 出題数	H28 秋 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	32 問 (40%)	36 問 (45%)	35 問 (44%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	31 問 (39%)	32 問 (40%)	25 問 (31%)
計算(数値や計算式を求める問題)	15 問 (18%)	9 問 (11%)	17 問 (21%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	2 問 (3%)	3 問 (4%)	3 問 (4%)
合計	80 問 (100%)	80 問 (100%)	80 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の秋期試験の午後問題で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

午後試験の分野		選択/必須	H27 秋 出題テーマ
情報セキュリティ		必須	販売支援システムの情報セキュリティ
コンピュータシステム	ハードウェア	6 問中 4 問選択	(出題なし)
	ソフトウェア		コンパイラの字句解析と構文解析
	データベース		従業員の通勤情報を管理する関係データベース
	ネットワーク		Web 画面の表示に要するデータ転送時間
ソフトウェア設計			レンタル業務システムの設計
マネジメント	プロジェクトマネジメント		単体テストにおける品質管理
	サービスマネジメント		(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		(出題なし)
	経営戦略・企業と法務		業務提携と出資の検討
データ構造及びアルゴリズム		必須	数値の編集
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問選択	サブシステムの開発作業順序
	COBOL		健康診断結果の管理
	Java		電卓プログラム
	アセンブラ		リスト処理
	表計算		改築作業のスケジューリング

3. 問題分析

今回の秋期試験は、午前問題・午後問題ともに、例年並みの標準的な難易度でした。
平成 22 年度以降、難易度はほぼ安定した状態が続いています。

【午前問題】

シラバス全体から幅広く出題される傾向、過去問題からの流用が多い傾向は、これまでと同様です。難易度は標準的といえます。今回は「テクノロジー系」から 50 問、「マネジメント系」から 10 問、「ストラテジ系」から 20 問が出題されました。

今回も「技術要素」の「セキュリティ」(中分類)からの出題が 10 問と、中分類項目の中でも最も多く出題され、そのうちの 5 問が情報セキュリティマネジメント試験の午前問題と同じものでした。セキュリティ攻撃では「パスワードリスト攻撃」「rootkit」、セキュリティ対策・技術では「WAF」「CAPTCHA」「ビヘイビア法」「メッセージダイジェスト」「PIN」「PKI」に関する出題がありました。最近の傾向から、今後もセキュリティからの出題が全問題中の構成比として約 1 割を占めると考えられるので、重点的に学習する必要があります。

2016 年 5 月に改訂されたシラバス Ver4.0 で追加された新出用語からは「パスワードリスト攻撃」「コストプラス法」が出題されています。また、シラバスに記載されていない内容として「バーチャル・サービスデスク」「CPU の投機実行」「技術の S カーブ」「HA クラスタ構成」「論理チェック」が出題されています。

【午後問題】

全体を通して、標準的な難易度でした。

選択問題では、「ハードウェア」「サービスマネジメント」「システム戦略」に関しての出題がありませんでした。全体的な難易度については例年並みといえますが、選択する問題によっては難易度の受けとめ方にばらつきがあると思われる。

必須問題である「情報セキュリティ」では、ネットワーク構成における Web サーバと DB サーバの配置場所を問う問題

が含まれており、DMZ の知識があれば解きやすい問題でした。情報セキュリティの 3 要素(機密性・完全性・可用性)を問う問題も出題されましたが、これらの知識があれば解きやすい問題でした。

必須問題である「データ構造及びアルゴリズム」では、編集パターンに応じて数値を編集するプログラムが出題されましたが、変数と配列要素の内容に対応した処理が複雑なため、やや解きにくい問題でした。

「表計算」では、今回も主要な関数である IF 関数、表引き、論理和、照合検索などの関数を利用した問題が出題されました。巻末の「表計算ソフトの機能・用語」の「6.関数」に関数の使い方が掲載されており、試験では毎回同じ内容が巻末に掲載されますので、主要な関数の解説の意味をあらかじめ理解し、これを参照しながら解けるように学習しておく必要があります。

4. 試験動向

新試験に移行した平成 21 年度(2009 年度)以降、応募者は減少傾向になっていましたが、近年は下げ止まりの様子となっています。なお、平成 28 年度春期試験は、九州地区の試験実施の中止により、応募者数が減少しています。

年度	春期	秋期	年間
平成 21 年度	90,752 名	107,800 名	198,552 名
平成 22 年度	92,108 名	100,113 名	192,221 名
平成 23 年度	88,001 名	82,090 名	170,091 名
平成 24 年度	75,085 名	79,674 名	154,759 名
平成 25 年度	66,667 名	76,020 名	142,687 名
平成 25 年度	65,141 名	74,577 名	139,718 名
平成 27 年度	65,547 名	73,221 名	138,791 名
平成 28 年度	61,281 名 ※	75,095 名	136,376 名

5. 今後の教材ラインナップと提供予定

当社の「基本情報技術者試験」教材のラインナップ(発売予定)は、次のとおりです。

No.	教材名	型番 予価	説明
1	基本情報技術者試験 対策テキスト 平成 29-30 年度版	FPT1615 2,200 円 (税抜)	2016 年 5 月に改訂されたシラバス(Ver4.0)のそって必要な知識を解説する教科書です。体系的な学習に最適です。 ※「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。 【2016 年 12 月発売予定】
2	基本情報技術者試験 直前対策 2 週間完全プログラム シラバス Ver4.0 準拠	FPT1623 1,500 円 (税抜)	2016 年 5 月に改訂されたシラバス(Ver4.0)に記載されている用語の中から出題傾向の高い用語を抜粋して解説した用語集です。 ※「C」「COBOL」「Java」「アセンブラ」「表計算」の解説は収録していませんので、ご注意ください。 【2017 年 1 月発売予定】

以上